

信州大学医学部附属病院血液内科・小児科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年1月8日

「輸血副反応に関与する製剤並びに患者因子の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の
情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4610
研究課題名	輸血副反応に関与する製剤因子並びに患者因子の検討
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院輸血部
研究責任者(職名)	柳沢 龍(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2024年12月31日
研究の意義、目的	輸血によって発症した副反応が、血液製剤または患者さん側どちらに原因があるのか調べるのがこの研究の目的になります。得られた結果によって将来より安全な輸血療法を患者さんに提供できる可能性があります。
対象となる患者さん	2000年4月1日から2024年12月31日までの期間中に当院で輸血を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、輸血前後の副反応発症経過に関する診療記録など。また、輸血によって副反応を発症した日時近くに実施された血液検査の残余または保存検体(この研究に関連して患者さんに新たに採血をお願いすることはありません)。
研究方法	診療記録と患者さんの検体を用いて輸血副反応に関連する原因を調査します。一方で輸血副反応の原因となった血液製剤の成分も併せて調査することで、どちら側に原因があるのか合わせて評価します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学と長野県立こども病院の共同研究で実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 柳沢 龍(輸血部・准教授) 電話: 0263-37-3240

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分やご家族の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。